

# 2000 神戸学院大学 Green Festival

第160回

10月14日(土) 15:00開演

●小林裕(オーボエ)・小林道夫(ピアノ)

ソロとデュオの午後

第161回

10月28日(土) 15:00開演

●渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ/鷺宮美幸

第162回

11月3日(金・祝日) 15:00開演

●長岡純子(ピアノ)

堀米ゆず子(ヴァイオリン) デュオとトリオの午後

山崎伸子(チェロ)

第163回

11月7日(火) 16:30開演

●道化座公演 井上ひさし作「父と暮せば」

演出・須永克彦 出演・須永克彦/杉山雅子

第164回

12月2日(土) 15:00開演

●浅川晶子(ピアノ)

横山奈加子(ヴァイオリン) トリオとピアノ・ソロの午後

長谷川陽子(チェロ)

第165回

12月9日(土) 15:00開演

●仲道郁代ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ連続演奏 第7回

## ●入場無料



会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

- お申込方法 ◎官製往復ハガキを使用してください。申込者多数の場合は抽選になります。
  - ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
  - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
  - ・ 返信裏面は空白のままをお願いします。
  - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
  - ・ 受付期間は各公演の1か月前～2週間前(必着)です。
  - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
- お申込み・お問い合わせ先  
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)  
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1551(代表)
- 交通経路と所要時間
  - ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
  - ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
  - ③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終下車後徒歩約12分※お車でのご来場は固くお断りいたします。

## 小林裕・小林道夫 ソロとデュオの午後

- 曲目 ●J.=B.ルイエ……オーボエ・ソナタ ト長調
- ドニゼッティ……オーボエ・ソナタ ヘ長調
- モーツァルト……「ああお母さん、聞いて」による12の変奏曲  
〔「きらきら星」の主題による変奏曲〕八長調 K.265 [ピアノ独奏]
- シューマン……オーボエとピアノのための3つのロマンス 作品94
- ブリトマン……オヴィディウスによる6つの「変容」 作品49 [オーボエ独奏]
- バルトーク……「子供のために」第2集より 6曲 [ピアノ独奏]
- カリヴオダ……サロン風小品 作品228

2回目のフェスティバル登場である小林道夫氏は申すまでもなく、日本を代表する演奏家。お若い頃からヒュッシュ、フィッシャー＝ディースカウ、ブライ、フルニエ、スークなど数えきれぬ程の巨匠との協演で絶賛され、また、独奏者としてもバッハ、モーツァルトを初めとする名作にチェンバロとピアノの両面で至芸を披露しておられます。今回は、東京フィルハーモニーの首席オーボエであり、室内楽でも意欲的に活躍中のご子息との親子協演。オーボエのための名曲が並ぶ魅力的なプログラムに、ピアノ・ソロ2曲で花を添えていただきます。氏のリサイタルではその演奏は言う迄もなく、深い学識からのお話がいつも楽しみです。今回はその両面から皆様を感銘に誘うことは疑いありません。

## 渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル

- 曲目 ●J.S. バッハ……無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト短調 BWV.1001
- J.S. バッハ……無伴奏ヴァイオリン・バルティータ 第2番 二短調 BWV.1004
- バルトーク……ヴァイオリンとピアノのためのラプソディ 第2番
- R.シュトラウス……ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 作品18

日本音楽コンクールでは15歳の最年少で優勝を飾り、ジュリアード音楽院を修了、ニューヨークを本拠地として世界的に活躍する俊才がグリーン・フェスティバル初登場。彼女のお得意のひとつシュトラウスのソナタがフェスティバルでは未紹介曲ですのでこれをお願いし、あとをお任せしました。前半はバッハの無伴奏、後半は20世紀のバルトークに19世紀末のロマンをたたえるシュトラウスと実に素晴らしいプログラムとなりました。ストラディヴァリウスの豊かな響きをたっぷりとお楽しみ下さい。協演の鷲宮さんは2年前、フルトヴェングラーのソナタの日本初演で横山奈加子さんをサポートして秀演を披露されましたが、今回は同級生の渡辺さんと息の合ったピアノで楽しませて下さることでしよう。

## 長岡純子・堀米ゆず子・山崎伸子 デュオとトリオの午後

- 曲目 ●ハルヴォルセン……ヘンデルの主題によるパッサカリア (ヴァイオリンとチェロ)
- ラヴェル……ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
- ベートーヴェン……ピアノ・トリオ 第7番 変ロ長調 作品97「大公」

それぞれの分野で日本を代表する名手が揃いました。長岡さんはオーランド・ファンはよくご存じでしょう。1968年にオランダに渡られ、しばらく日本とごぶさたしておられました。1980年に東京で20年ぶりのリサイタルを開催されてからは、しばしば日本のステージでも至芸を披露しておられます。堀米さんはエリーザベト国際コンクールで優勝されてから、ベルギーを本拠に欧米のオーケストラとの協演を続けておられます。山崎さんは1990年秋以来の久々のご出演。日本音楽コンクールで第1位のあと巨匠フルニエに師事、以後来日の海外オーケストラとの協演など活躍を続けておられます。お三方はここ数年ある期間トリオやデュオでツアーをなさり、期待に違わぬ成果をあげておられます。3曲ともフェスティバル初登場曲、とくにベートーヴェンは多くの方々からご希望が出ておりました。

## 劇団道化座公演『父と暮せば』

- 作 ●井上ひさし
- 演出 ●須永克彦
- 出演 ●須永克彦 杉山雅子

『父と暮せば』は、ヒロシマを舞台に父と娘の二人だけの芝居。哀切でユーモラスで生きる勇氣を与えてくれる、井上ひさしの戯曲の中でも珠玉と言ってもいいほど美しい作品です。その作品を神戸の道化座が上演する。深い意味が加わります。なぜなら、井上ひさしは意図していなかったでしょうが、セリフの随所にある震災体験が重なるからです。いま、『父と暮せば』をもっとも理解できるのは、道化座と神戸の観客たちかもしれません。ぜひ御覧ください。強い感動があります。

## 浅川晶子・横山奈加子・長谷川陽子 トリオとピアノ・ソロの午後

- 曲目 ●ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼル……ピアノ・トリオ 二短調 作品11
- ファニー・メンデルスゾーン=ヘンゼル……「一年」より 5月・12月 [ピアノ独奏]
- クララ・シューマン……3つのロマンス 作品11 [ピアノ独奏]
- クララ・シューマン……ピアノ・トリオ ト短調 作品17

最近、女流作曲家が目を集めています。その数はおそらく皆様のご想像以上に多いのですが、中でも、メンデルスゾーンのお姉さんとシューマン夫人はトップクラスと言ってよいでしょう。ともにピアノ・トリオを書き、内容もなかなかのものなので、まとめてご披露したいとかねがね考えていました。長谷川陽子さんは室内楽にも意欲的で、春のモーツァルトの協奏曲に続き、このちょっと変わった出し物にも快くOKを出して下さいました。横山さんは2年前に大曲フルトヴェングラーのソナタの日本初演に挑戦して、曲の持味を見事に引き出されました。浅川さんは大阪フィル・オーボエ首席浅川和宏氏夫人で、室内楽の表現にすばらしい感性をお持ちです。トリオの他に、この2人の作曲家の独奏用小品もご披露下さいませ。

## 仲道郁代 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第28番 イ長調 作品101
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第29番 変ロ長調 作品106「ハンマークラヴィーア」

連続演奏もいよいよあと2回、今回より後期作品に入って作曲家46歳～48歳の作である第28番と第29番。最後の5曲のソナタはあらゆる音楽愛好家にとって「聖なる大地」と称されていますが、その先陣を切る第28番は終楽章がとくに難解で、のちに「第9交響曲」に現れる有名な技法の先取りは何を物語るのでしょうか。第29番は作曲家最大のソナタ。「量でも質でもこれまでソナタ作品で試みられ成しとげられたいかなるものをも凌駕し、寄せつけない」と巨匠ブレンデルが語るこの巨峰、特にあの「聖なる」アダージョに仲道さんがどう挑まれるか。このような作品内容から、演奏者のたいへんな負担を考え、今回と次回は恒例のインタビューを行いませんのでご了承下さい。借越ながら、お客様も充分にコンディションを整えてご来場下さいますよう、また小学校低学年のお子様のご来場はなるべくご遠慮下さるべくお願い申し上げます。